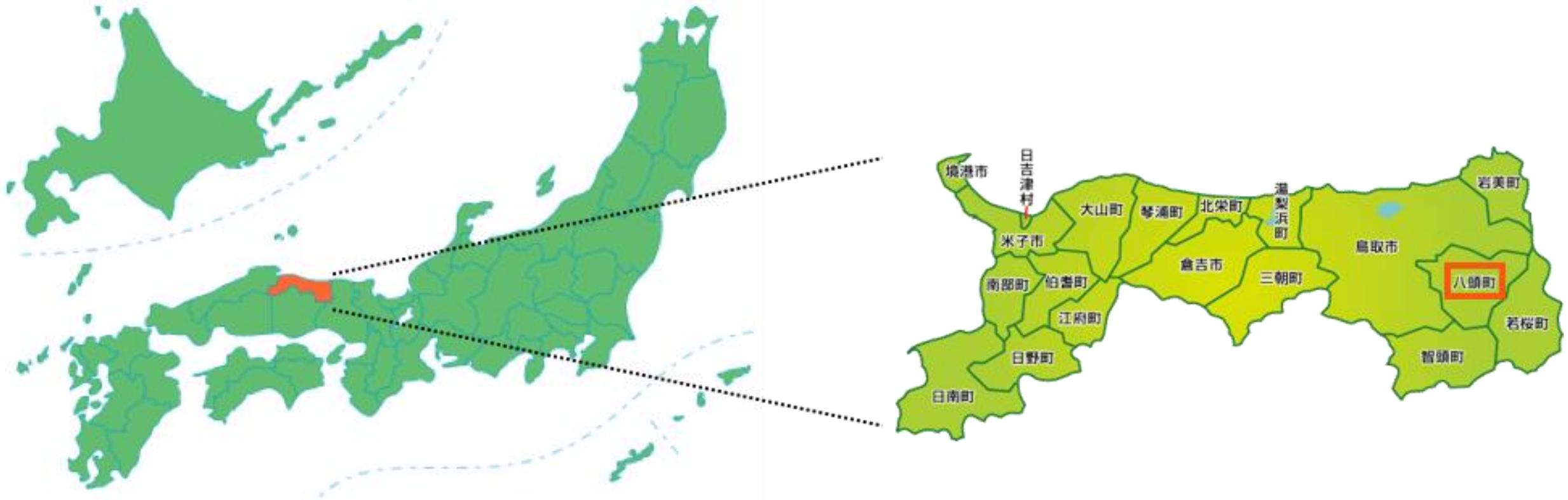


# 持続可能な未来の田舎を作る、 新たな地域の拠点「隼Lab.」



八頭町、(株)シーセブンハヤブサ

# 鳥取県八頭（やず）町



人口	16,451人	世帯数	6,130世帯
高齢化率	36%	面積	206.71m <sup>2</sup>

※人口・世帯数は2021年9月30日現在  
※高齢化率は人口における65歳以上の割合、2015年統計調査による

The logo for T Lab. is centered in the upper half of the image. It features a stylized 'T' composed of three horizontal bars: a top blue bar, a middle green bar, and a bottom orange bar. Below this graphic, the text 'T Lab.' is written in a large, black, sans-serif font. The 'T' is positioned above the 'L', and the 'a' and 'b' are to its right.

# T Lab.



# 行政

# 民間企業

## 八頭町

隼Lab.を保有・整備

無償貸与



# Lab.

持続可能な  
運営

シーセブン  
ハヤブサ

隼Lab.を運営

共通目標

隼Lab.を拠点に、持続可能な未来の  
モデルとなる田舎をつくる

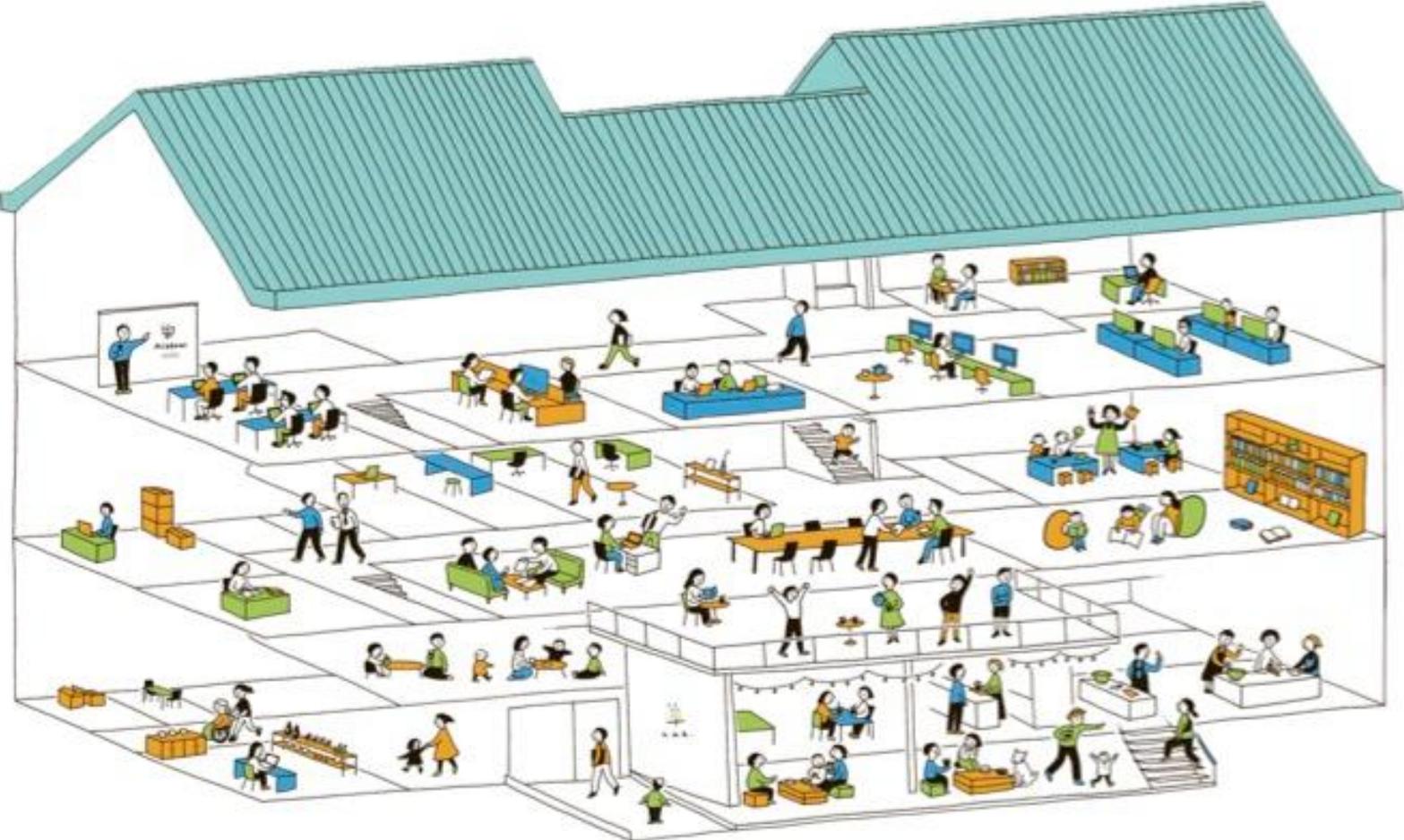


新しい集落ができたようで、嬉しい。









シェアオフィス

コワーキングスペース

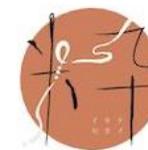
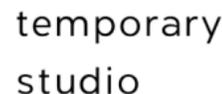
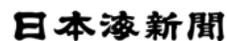
カフェ  
ショップ

地域の活動拠点  
訪問看護ステーション



シェアオフィス入居・コワーキングスペース会員含めて

# 全44企業が入居



平均勤務者数

カフェ来客数

60人/日

3万人/年

平成30~令和2年の3年間で、視察件数91件。

挑む、活かす、生み出す、続ける。



C-SEVEN HAYABUSA



代表取締役CEO



(株)トリクミ

鳥取県内にて飲食店を運営、デザイン・ブランディング業務も行う。隼Lab.内のカフェも運営。代表取締役CEO・古田琢也（八頭町出身）がシーセブンハヤブサの代表も務める。



取締役



(株)アクシス

鳥取県内大手のIT企業。隼Lab.内にも入居し、地方のIT企業として様々な取り組みを行う。代表取締役・坂本哲（鳥取県出身）がシーセブンハヤブサの取締役を務める。



取締役

AOI TYO Holdings

AOI TYO Holdings(株)

広告コンテンツの戦略立案・企画・制作を行う傘下子会社及びグループの経営管理。代表取締役グループCEO・中江康人（鳥取県出身）がシーセブンハヤブサの取締役を務める。



監査役  
+ 行員1名を出向



(株)鳥取銀行

地域金融機関の立場から、隼Lab.の運営や、隼Lab.を拠点とした起業創業のエコシステムの構築に取り組む。担当行員1名がシーセブンハヤブサに出向。

# 八頭 未来の田舎 PROJECT

様々なアイデアや技術を持つ企業と  
コミュニティを掛け合わせ、

テクノロジー×コミュニティの力で

地域の課題を解決するプロジェクト。

八頭町・シーセブンハヤブサ・  
鳥取銀行が連携して推進する。



さあ、未来の田舎をつくろう。



少子高齢化



耕作放棄地の増加



産業の衰退



空き家の増加



町の財源減少



廃校の増加



買い物難民



若者の都市集中



高齢化率の上昇



# コミュニティの希薄化



県内で隼Lab.に続く  
拠点づくりの推進

地域コミュニティの活性化

空き家活用の増加

移住者の増加

町内の廃校活用の増加



新たな事業の創出

新事業・起業家の創出

地域の産業の  
アップデート

行政・民間・地域の連携

公的資金に頼らない  
民間視点のまちづくり





プラチナ社会を実現し

日本の未来のモデルになる  
田舎をつくる

